

## 第1章 はじめに

計画で示すもの

本市の豊かな緑と水辺を次代に引き継ぐため、市民、団体、企業、大学など、多様な主体と行政が連携・協力して取り組む、本市の緑と水辺のまちづくりの基本方針

期間

令和5年度(2023年度)～令和14年度(2032年度)までの概ね10年間

対象

千葉市全域の緑と水辺

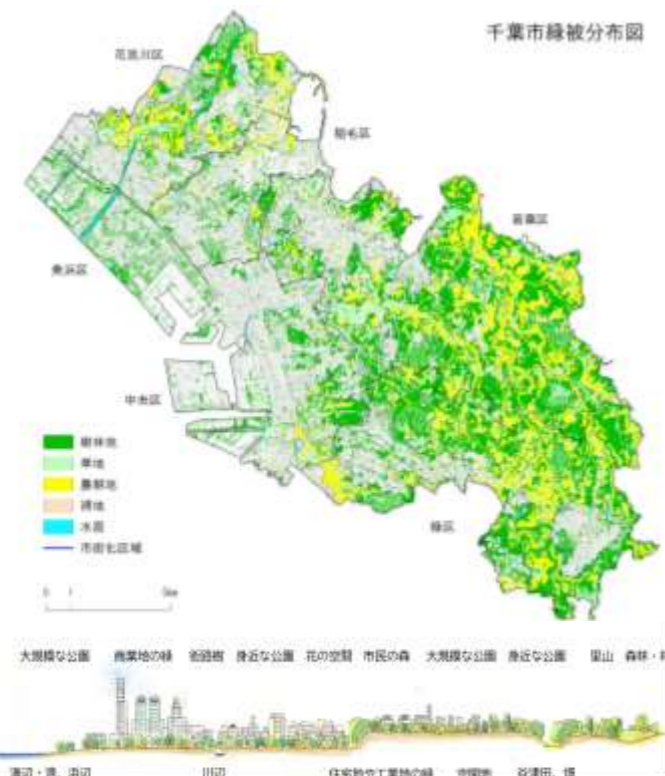
## 第2章 緑と水辺の現状と課題

緑の現状と課題

- ・昭和19年(1944年)から平成2年(1990年)にかけて緑は大きく減少し、近年はほぼ横ばい(市域の約半分)
- ・市街化調整区域での開発等により緑が消失
- ・公園ストックの老朽化や、誰もが活用できるつくりになっていない
- ・街路樹ストックの大径化による通行・歩行環境の悪化
- ・緑と水辺の各フィールドにおけるまちづくりの担い手の高齢化、既存団体の弱体化

水辺の現状と課題

- ・川幅が狭く、親水護岸が少ない
- ・緑と比較して水辺への愛着が持たれていない
- ・海辺と比較し川辺への愛着が持たれていない



## 第3章 本計画における基本的な考え方

計画のテーマ

**緑と水辺のストックをまちづくりに活かす**  
～縄文より続く住みやすさ日本一のまちを次代に～

千葉市の緑と水辺のストックの質を高め、まちづくりに活かしていく

本計画のポイント

グリーンインフラ

自然環境が有する多様な機能を活用した、持続可能で魅力ある都市づくり

川辺での施策充実

海辺と内陸部をつなぐ「川辺」における施策を充実します

都市デザイン

都市の生い立ちを踏まえた、各地域の自然的、歴史的特色を生かしたまちづくり

### 目指す緑と水辺の姿

本計画では、「全市レベル」、「地域レベル」の緑と水辺の姿と、それらに「関わる人々」の、3つのレイヤーで構成します

#### 全市レベル (第1のレイヤー)

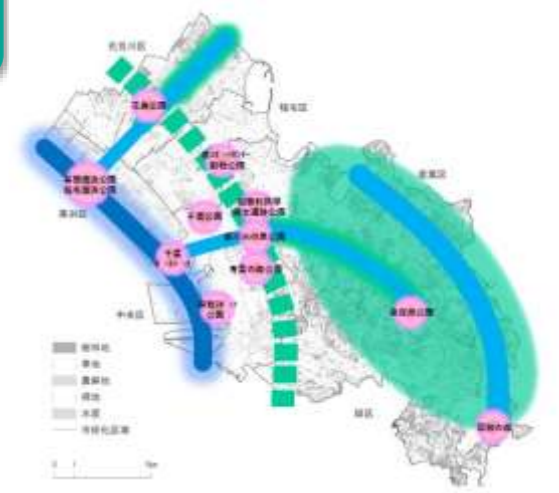
全市レベルの緑と水辺の姿は、本市の2放射・3環状から成る**緑と水辺の骨格**、市民に親しまれている「**すごしたくなる緑と水辺の11拠点**」

<緑と水辺の骨格>

- 2放射：花見川沿いの水辺軸、都川沿いの水辺軸
- 3環状：東京湾沿いの水辺軸、内陸部の緑地軸、鹿島川沿いの水辺地帯

<緑と水辺の11拠点>

- 千葉公園、県総合スポーツセンター・動物公園、加曾利貝塚縄文遺跡公園、泉自然公園、昭和の森、千葉ポートパーク、幕張海浜公園・稲毛海浜公園、青葉の森公園、花島公園、蘇我スポーツ公園、都川水の里公園



全市レベルの緑と水辺の姿

#### 地域レベル (第2のレイヤー、第3のレイヤー)

地域レベルの身近な緑と水辺の主要な構成要素である公園や街路樹に加え、地域によって、川辺、海辺、谷津田、花のある空間等の**点在する緑と水辺に関わる人々や、生き物が介在するネットワーク**(オオガハスの花托がモチーフ)



オオガハス 花托



地域レベルの緑と水辺の姿

第1のレイヤー

第2のレイヤー

第3のレイヤー

3つのレイヤー構造

# 千葉県緑と水辺のまちづくりプラン2023骨子（案） 概要

## 第4章 緑と水辺に関わる施策の方向性

本計画では、緑と水辺のストックをまちづくりに活かすこと（例：生活の質の向上、健康寿命、子育て、災害への備え等）を狙いとし、緑と水辺の各フィールドでの施策の方向性をグリーンインフラの推進施策として位置付けます。グリーンインフラの推進施策は、**保全型**（緑と水辺の存在により機能を発揮するもの）、**活用型**（緑と水辺を活用することで一層機能が増進するもの）、**関わる人々**の区分で展開します。

緑と水辺のフィールドと施策展開に係る基本的な考え方		グリーンインフラの取組推進の方向性
公園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すごしたくなる緑と水辺の11拠点と、身近な公園の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豪雨時の雨水貯留・浸透機能を有する公園の整備【保全型】</li> <li>・官民連携で多世代がすごしたくなる緑と水辺の11拠点の充実（イベント開催、インクルーシブ、コワーキング等）【活用型】</li> <li>・身近な公園に特色を持たせ公園間で機能分担（子育て、防災、農とのふれあい等）やシンボルとなる公園の再整備【活用型】</li> <li>・トイレの快適化【活用型】</li> </ul>
街路樹	<ul style="list-style-type: none"> <li>・街並みや景観に配慮した街路樹づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・街並みや景観を重視した街路樹づくりの推進（シンボルロードを彩る美観を意識した街路樹づくり）【保全型】</li> <li>・豪雨時の雨水貯留・浸透機能を高める街路環境の改善について検討【保全型】</li> <li>・「千葉県街路樹のあり方」に基づく道路環境に見合う街路樹となるような改善【活用型】</li> </ul>
川辺	<ul style="list-style-type: none"> <li>・川辺でのアクティビティの充実</li> <li>・リラックスできる環境づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親しみを感じてもらえるように河川の水質保全、川辺の景観保全の推進【保全型】</li> <li>・川辺の良さを実感してもらえるようなアクティビティの充実【活用型】</li> <li>・川辺でリラックスしてすごせる環境を充実（川辺の公園のトイレ改修等）【活用型】</li> </ul>
海辺 (人工海浜・港)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・官民連携での海辺の魅力向上の継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親しみを感じてもらえるように海辺の景観の保全の推進【保全型】</li> <li>・海辺（人工海浜・港）における官民連携での魅力向上の取組を引き続き推進【活用型】</li> </ul>
谷津田 森林	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緑と水辺の骨格における緑地保全の推進</li> <li>・適切な緑地管理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・骨格軸上の緑地保全を推進（緑地保全のあり方について検討）【保全型】</li> <li>・樹木が生育する基盤となる土中環境の改善【保全型】</li> <li>・市民が立入ることが可能な身近な林地環境の拡大の検討【活用型】</li> <li>・谷津田再生エリアでの田んぼづくり、樹林再生エリアでの森づくり等を推進【活用型】</li> </ul>
農地	<ul style="list-style-type: none"> <li>・優良農地の保全</li> <li>・農とふれあえる環境の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業生産上重要な農地の保全の推進【保全型】</li> <li>・営農型太陽光発電における農業技術支援の検討【活用型】</li> <li>・身近な農地等で農にふれあえるよう市民農園の開設の促進【活用型】</li> </ul>
住宅 民間施設 公共施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存の緑の保全促進、緑化の推進</li> <li>・緑愛護の促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緑化敷地の改修時において、既存の緑をなるべく保全できるようなしくみを検討【保全型】</li> <li>・土地所有者等の理解を得つつ緑化を推進（立地適正化計画の居住促進区域内）【保全型】</li> <li>・緑化等、緑の愛護に関わる活動を通じた地域コミュニティの形成、醸成【活用型】</li> <li>・園芸福祉活動の充実を検討【活用型】</li> </ul>
空閑地	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市スポンジ化対策</li> <li>・公園不足地域での広場活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空閑地を広場等として暫定利用できる仕組みづくり【活用型】</li> </ul>
花の空間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オオガハスの取組の充実</li> <li>・戦略的な花の空間づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オオガハス関連の取組を充実【活用型】</li> <li>・プロムナードにおける花のふれあい道づくりを充実【活用型】</li> </ul>
施策全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりと連携した施策の充実（量→質への転換継続）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりに意欲的に関わる市民、団体、事業者等の支援【関わる人々】</li> <li>・緑と水辺の保全と活用に意欲的に取り組む市民、団体、事業者等の積極的な表彰【関わる人々】</li> <li>・立地適正化計画や景観計画等のまちづくりと連携した戦略的な施策を展開【保全・活用型】</li> <li>・最新技術を用いた積極的な情報発信、シームレスな空間形成の推進【保全・活用型】</li> </ul>